

E35 西九州自動車道(佐世保道路)佐々IC^{さざ}～佐世保中央IC^{させぼちゅうおう}

4車線化完成で、利便性が向上

ピーク時旅行速度が 10 km/h→50 km/h 以上に改善 所要時間が 8 分短縮

E35 西九州自動車道(佐世保道路)佐々IC～佐世保中央IC間【延長:9.9km(佐世保中央IC～佐世保みなとICの一部を含む)】が、令和7年3月23日(日曜)に4車線で完成しました。4車線化完成1年後の交通状況について、お知らせいたします。

<概要>

- 4車線化完成によって、ピーク時の旅行速度が 10 km/h→50 km/h 以上に改善し、所要時間が約 8 分短縮。
- 4車線化完成により中央分離帯が設けられたことで、過去 5 年間で 3 件発生していた正面衝突事故が令和 7 年度は 0 件に減少。
- 4車線化(片側 2 車線)完成により事故・故障車発生時でも通行帯を確保できるようになり、年平均 3 回発生していた通行止めが令和 7 年度は 0 回に減少。

■ お問い合わせ

NEXCO 西日本 お客さまセンター(年中無休・24 時間)

 0120-924863 (クルマでおでかけ 24 時間ハローさん)

※IP 電話等一部のフリーダイヤルがご利用できない場合があります。

その場合は、 **06-6876-9031** (通話料有料)

電話番号をよくお確かめのうえ、お掛けください。

※交通状況の詳細情報に関するお問い合わせについては、担当部署をご案内する場合がございます。

平均旅行速度の向上・所要時間の短縮

○朝の通勤時間帯に相浦中里ICの合流部付近で10km/h未満となっていました。4車線化完成に伴い交通容量が増加し、交通の流れが分散したことで渋滞が緩和し、大部分で50km/h以上となりました。

○4車線化により渋滞が緩和された結果、朝ピーク時の所要時間が約8分短縮され、速達性が向上しました。

ピーク時間渋滞状況の変化 朝ピーク時(7時・8時台)相浦中里IC付近



速達性の向上

【旅行速度凡例】

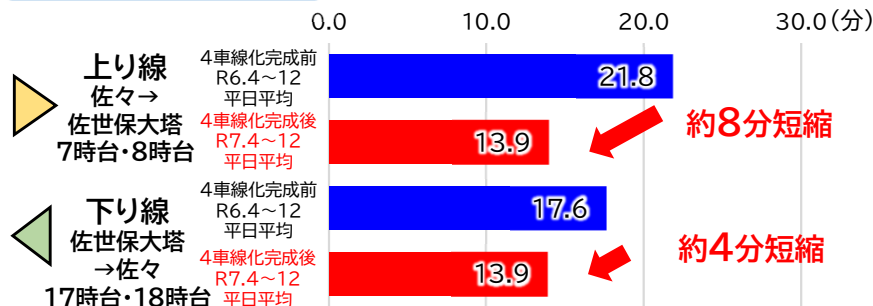
■10km/h未満 ■10km/h以上 ■20km/h以上 ■30km/h以上 ■40km/h以上 ■50km/h以上



所要時間の短縮

※ 佐々IC ⇄ 佐世保大塔IC (平日)

資料: ETC2.0プローブデータ



《関係者の声》



4車線化完成により道路の渋滞が緩和され、佐々町から佐世保市への通勤時間が大幅に短縮されました。そのおかげで、朝の時間にゆとりをもって過ごせるようになりました。

佐世保市役所 R7.12ヒアリング

資料: ETC2.0プローブデータ

対面通行区間の解消に伴う、交通安全性の向上

- 4車線化完成により中央分離帯が設置されて安全性が向上し、過去5年間で3件発生していた正面衝突事故は、R7年度は0件に減少しました。
- 4車線化(片側2車線)完成により事故・故障車発生時でも通行帯を確保できるようになり、年平均3回発生していた通行止めがR7年度は0回に減少し、道路ネットワークの信頼性が向上しました。

中央分離帯の設置により安全性が向上



【4車線化完成前】正面衝突事故リスクが高い



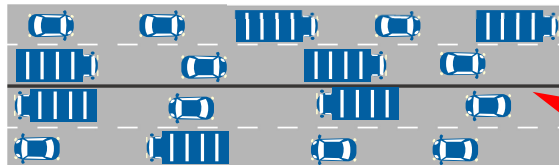
重大事故が発生しやすい



中央分離帯がないため対向車線へ飛び出すと正面衝突事故などの重大事故に直結しやすい

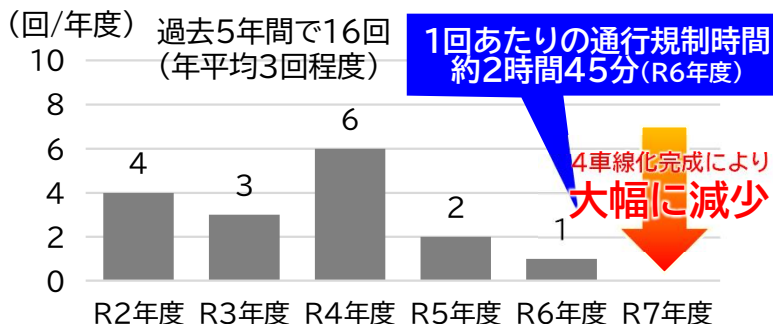
改善

【4車線化完成後】中央分離帯で正面衝突事故を抑制



4車線化完成に合わせて中央分離帯を設置
安全性が向上

4車線化完成した区間における事故・故障車による通行止めの発生状況



資料:国土交通省(R2~R6年度)、NEXCO西日本(R7年度)

《関係者の声》



4車線化完成により道幅が広くなり、走行の安全性が向上しました。また、事故等の影響による通行止めのリスクが減り、定時運航の精度が上がっています。

長崎県トラック協会佐世保支部 R7.12ヒアリング



4車線化完成により事故・故障車発生時も片側車線規制等で対応が可能となり通行止めが減少



4車線化完成後、佐々IC~佐世保中央間で発生した交通事故による救急出動件数が減少しており、R6年度は6件の救急出動でしたが、R7年度は0件(R7.12.9時点)でした。安全性が向上していると思います。

佐世保市消防局 R7.12ヒアリング

水産品の輸送性向上

- 佐世保魚市場が近接する相浦中里ICから佐世保中央ICへの所要時間は、4車線化完成後は朝ピーク時(7時・8時台)に約32%短縮されました。
- 佐世保魚市場から出荷される鮮魚等は、4車線化により輸送時間が短縮したことで、より鮮度が良い状態で流通させることが可能となり、ブランド価値の更なる向上が期待されます。

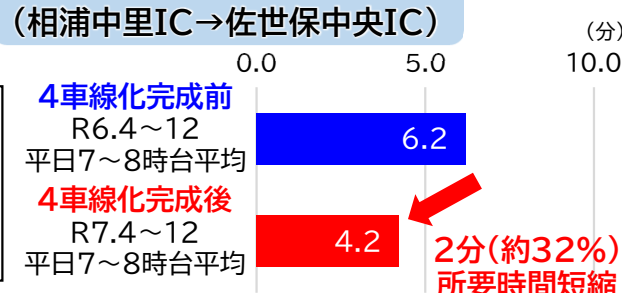
佐世保の魚をさらに新鮮な状態で届けられるように



速達性の向上



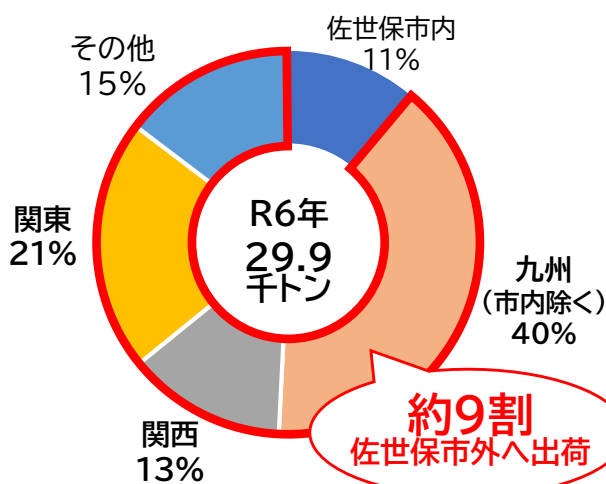
所要時間の短縮



資料:ETC2.0プローブデータ

資料:ETC2.0プローブデータ

佐世保市内水産市場の出荷先割合



資料:佐世保市役所 R7.12ヒアリング

鮮魚

鮮度を保ったまま 全国各地へ

佐世保魚市場から出荷 AM4:30、6:30~競りがスタート!

鮮度が向上

4車線化完成後は 輸送時間が短縮

水産物の 高付加価値化へ

活魚

生きた魚を全国各地へ 産地から直接出荷

魚のストレス軽減!
魚同士の擦れの軽減!

《関係者の声》



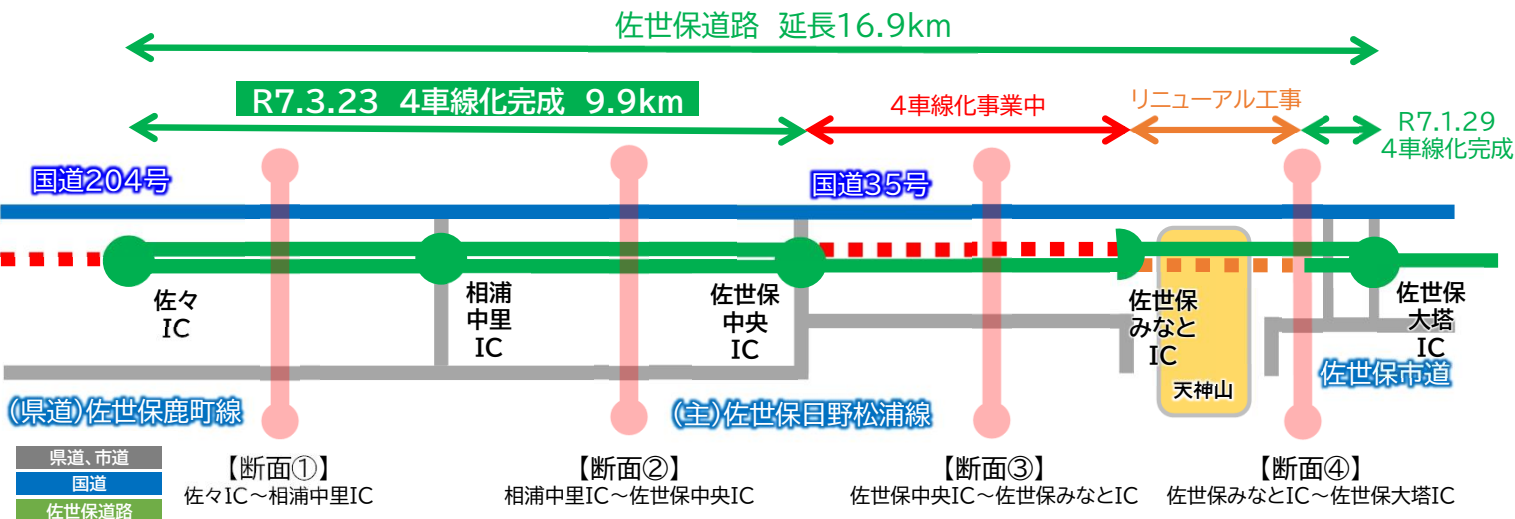
競り落とされた魚を輸送する際に、以前は朝の渋滞に巻き込まれていましたが、4車線化完成により輸送時間が短縮されたことにより、鮮度がより良い状態で流通させることが可能になりました。これにより、ブランド価値をさらに向上できると考えています。

佐世保市役所 R7.12ヒアリング

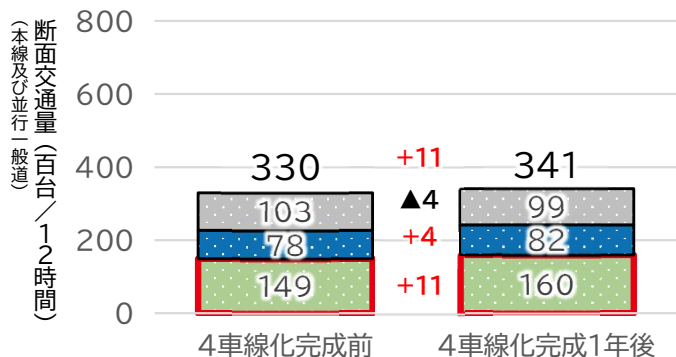
交通状況の変化

- 佐世保道路のうち4車線化完成した佐々IC～佐世保中央IC間の交通量(断面①・②)は、4車線化完成前と比べ増加しています。
- 佐世保道路のうち4車線化完成していない佐世保中央IC～佐世保大塔IC間の交通量(断面③・④)は減少しましたが、今後4車線化完成することで、利用促進や並行する一般道の混雑緩和が期待されます。

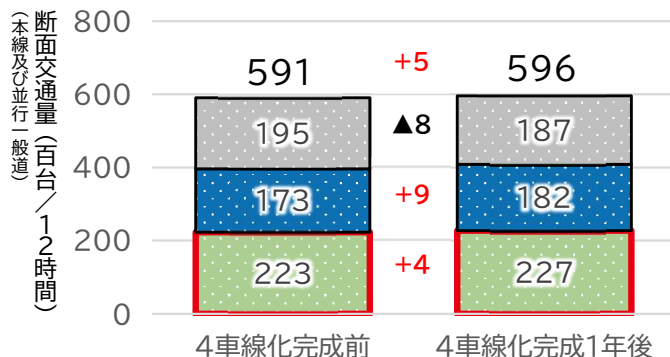
断面(佐々IC～佐世保大塔IC)の交通量の変化



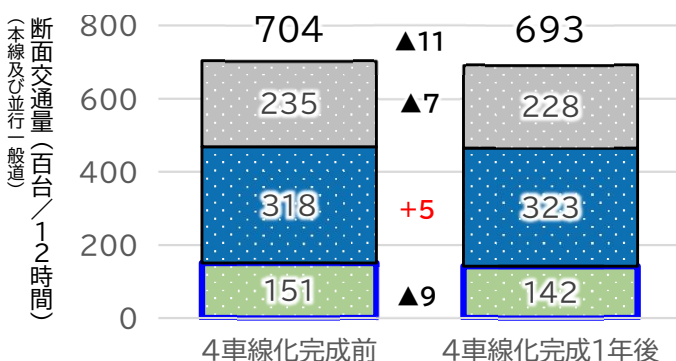
【断面①】 佐々IC～相浦中里IC (4車線化完成)



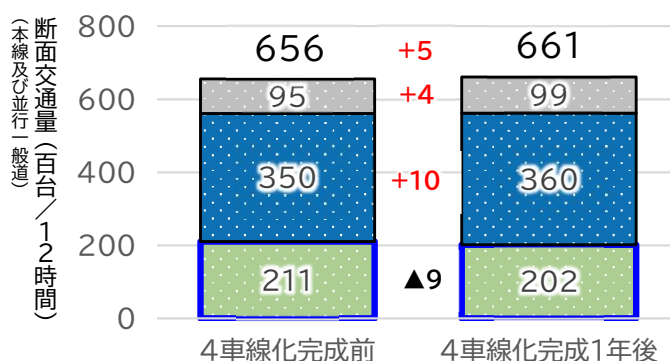
【断面②】 相浦中里IC～佐世保中央IC (4車線化完成)



【断面③】 佐世保中央IC～佐世保みなとIC (4車線化事業中)



【断面④】 佐世保みなとIC～佐世保大塔IC (リニューアル事業中)



※本線の交通量はトラフィックカウンターによる速報値、並行一般道の交通量は交通量調査結果。(12時間交通量)(完成前:R7.3.5(水)、完成後:R8.3.4(水))
 なお、端数処理を四捨五入により行っていることから、総数と内訳の計とが一致しない場合があります。

《関係者の声》



佐々町から佐世保市内へ買い物などで向かう際、距離が遠い場合でも時間的に早くなる佐世保道路を選ぶようになりました。
 佐々町役場 R7.12ヒアリング



4車線化により、地域住民、観光客両方にとってアクセスの向上につながりました。特に観光客にとっては、佐世保から平戸などへ周遊する際の利便性が向上したと思います。
 佐世保市観光コンベンション協会 R7.12ヒアリング

【参考】E35 西九州自動車道(佐世保道路)の概要

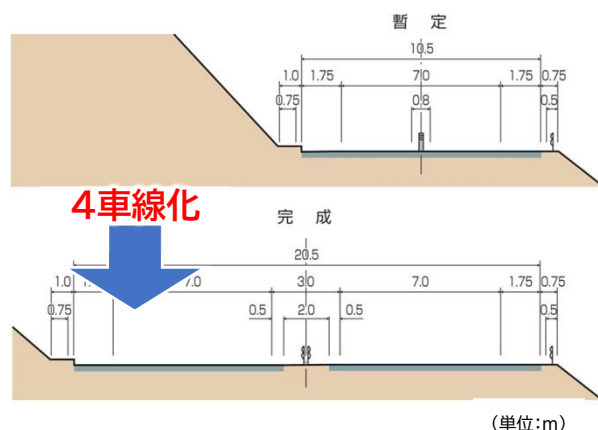
- 西九州自動車道を構成する佐世保道路は、九州北西部の広域的な連携を図り、地域の産業・経済・観光などの発展に重要な役割を担っています。
- R7年3月23日に佐々IC～佐世保中央IC間9.9kmの4車線化が完成し、佐々IC～佐世保大塔IC間を新たな料金に変更しました。



■事業の経緯(佐々IC～佐世保中央IC)

H5年度	事業化(国土交通省)
H21年度	相浦中里IC～佐世保中央IC 暫定2車線供用(国土交通省管理)
H23年度	佐々IC～相浦中里IC 暫定2車線供用(国土交通省管理)
H30年3月	4車線化事業許可(西日本高速道路(株))
R1年8月	工事着手
R7年3月	佐々IC～佐世保中央IC 4車線化完成(西日本高速道路(株)管理に変更)
R8年6月	佐世保中央IC～佐世保大塔IC 4車線化事業継続中

■標準横断面図(土工部)



■4車線化完成状況

